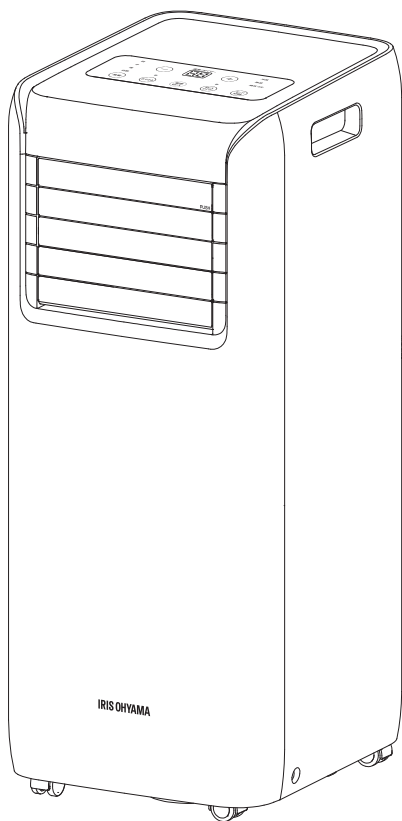




室内・家庭用

ポータブルクーラー IPA-2221G

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
ます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。**
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	7

取り扱いかた

運転前の準備	9
使いかた	16
お手入れ	22

こんなときには

故障かな？と思ったら	23
エラーが表示されたときは	25
仕様	26
長期使用製品について	27
保証とアフターサービス	27
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードについて



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実
に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してくだ
さい。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使わない
ショートによる火災・感電の原因になりま
す。電源コードが破損したときは、アイリ
スコールへお問い合わせください。
- 電源コードを傷付けない
傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじ
る、重い物を載せる、挟み込む、持ち運び
時や収納時に引っ張るなどしないでくだ
さい。
電源コードが破損し、火災・感電の原因に
なります。
- 延長コードは使用しない
- 電源コードを抜いてエアコンを停止し
ない
火災・感電の原因になります。



- アース線は、ガス管や水道管、電話線
や避雷針のアース線には絶対に接続し
ない
爆発・火災の原因になります。

設置について



- 梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場
所に保管する
誤って被ったときに、窒息死する原因になります。
- 付属品は、重量に耐える場所に確実に取
り付ける。また、取り付けは必ず付属の
窓パネルや指定の部品を使用し、正しく
行う
取り付けが不十分ですと、落下によるけが
の原因になります。
- 水気の多いところで使用する場合は、
漏電遮断器を設置する
水気の多いところに設置する場合は、ア
ースの他に漏電遮断器の設置が義務付けら
れています。（ご家庭の分電盤に設置され
ていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気
工事店にご相談ください。
- アース工事は販売店または専門業者に
依頼する
アースが不完全だと、感電の原因になります。



- 可燃性ガス（殺虫剤など）を吹きつけないで
ください。また、灯油・ガソリン・ベンジン・
シンナー・塗料などその他引火性のもの、爆
発のおそれのあるものの近くでは使用しない
爆発・火災・故障・変形の原因になります。
- 暖房器具の周辺など、熱気が当たる場
所では使用しない
故障・変形の原因になります。



アースを接続

- アースを取り付ける
アースを取り付けることをおすすめします。
アースを取り付けないと、故障したり漏電し
たりしたときに、感電のおそれがあります。
次のような場所で使用する場合は、法律で
アース工事（D種接地工事）が義務付けら
れています。
 - 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
 - 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ

異常時には



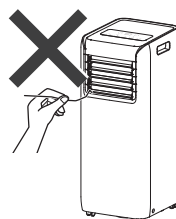
プラグを抜く

- 直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 内部に水・異物などが入った
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 変形したり、ひび割れしたりしている
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる→使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

禁止事項



- 吸込口・吹出口・排気口にピンや針金などの異物、また指を入れない
本体内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、説明書のとおり正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。
- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

本体について



- 商品を分解したり修理・改造はしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
- 本体の上に物を載せない
- 本体に洗濯物などをかけない
落下して、けがや火災の原因になります。
また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。
- 吸込口・吹出口・排気口をふさがない
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。
- 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない
過熱して火災の原因になります。

お手入れについて



- 付属品の取り付け・取り外しやお手入れをする際は、手袋をはめる
けがの原因になります。



- お手入れのときは、不安定な台に乗らない
転倒してけがの原因になります。
- 本体内部の金属部に触れない
けがをするおそれがあります。

安全上の注意 つづき



- 屋外では使用しない
故障・感電の原因になります。
屋内あるいは準屋内（屋根があり直射日光や雨があたらない場所）で使用してください。
- 障害物（カーテンなど）の近くや不安定な場所（傾斜がある場所など）では使用しない
本体転倒・事故・故障の原因になります。
- 押し入れや家具のすき間、机の下など狭い場所では使用しない
発火・故障の原因になります。
- 次のような場所では使用しない
 - ・ ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所
 - ・ 温室やビニールハウスなど湿度の高い場所、雨や水しぶきがかかる場所
 - ・ 工場内や飲食店、厨房などの油のつきやすい場所
 - ・ 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い場所
 - ・ 火花が散るような場所
 - ・ 加工油や防錆油、有機溶剤を使用している場所感電・火災・破損・故障の原因になります。
- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
エアコン内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
- 長時間冷風を身体に当てない



- 冷風温度を下げすぎない
特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。
 - 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。
-
- 本体を移動するときは必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行ってください。また、引きずっての移動は絶対にしないでください。畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの場合、持ち上げて移動する
水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電・火災の原因になります。また、床を傷つけたり、けがの原因になります。
 - 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。
 - 部屋を閉め切ったりダクトを取り付けて使用する場合、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

電源プラグ・電源コードについて

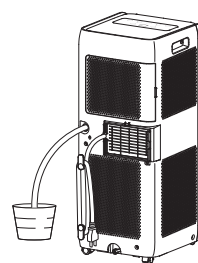


プラグを抜く

- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
- お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く
けがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- セパレートエアコンなどと構造が異なりますので、簡易的な冷房としてお使いください。
付属の排気ダクトと窓パネルを使用せずに閉め切った室内で使用すると室温が上昇します。
- 室温が16～35℃の範囲でお使いください。
指定の温度範囲外で使用すると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。使用温度範囲は湿度により変わりますので、目安としてください。
- 排気処理を適切に行ってください。
付属の排気ダクトと窓パネルを適切に使用することにより、室温の上昇を抑え、効果的に使用できます。
- 電源プラグを抜き差しして再度運転する場合は、3分以上待ってください。
落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一度運転を停止して電源プラグを抜いてください。再度運転する場合は、3分以上待ってから再度運転させてください。
- 直射日光を入れない・当てないでください。(冷風・除湿運転時)
直射日光をカーテンやブラインドでさえぎってください。
- エアフィルターをはずした状態で使用しないでください。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアフィルターのお手入れはこまめに行ってください。
エアフィルターにほこりがつまると風量が減少し、能力が低下します。
また、エアフィルターをはずしたまま運転をすると内部にごみが付着し、故障の原因になります。必ずエアフィルターを取り付けてお使いください。
- 無理やり可動部に力を加えないでください。
動かなくなったらそれ以上は可動させないでください。無理に動かすと、故障や破損の原因になります。
- 熱の発生は少なくしてください。(冷風・除湿運転時)
室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。
- テレビやラジオなどのAV機器から2m以上離してください。
電波障害の原因になります。
- 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し運転が継続できなくなる場合があります。
- ゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は、冷風運転、除湿運転の排水時以外は、取りはずさないでください。
水もれの原因になります。
- 騒音に注意してください。
設置場所や本機自体の振動などにより騒音を発生する場合があります。
 - ・排気口からの風の騒音
 - ・排気口からの風が近傍のものに当たったときの騒音
 - ・不安定な場所に設置したときの振動による騒音
- 窓パネルは、雨どいの真下を避け、強い風などにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。
- 雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取りはずしてください。
室内を汚す原因または破損の原因になります。
- 連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意してください。
- ドレン水を受けている容器の水量をこまめに確認し、ホースの先はドレン水に漬からないようにしてください。
ドレン水が室内にこぼれて、家財などをぬらす原因になります。



異常時は

- エアコンを運転しても冷えないときは、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

使用上の注意 つづき

廃棄について

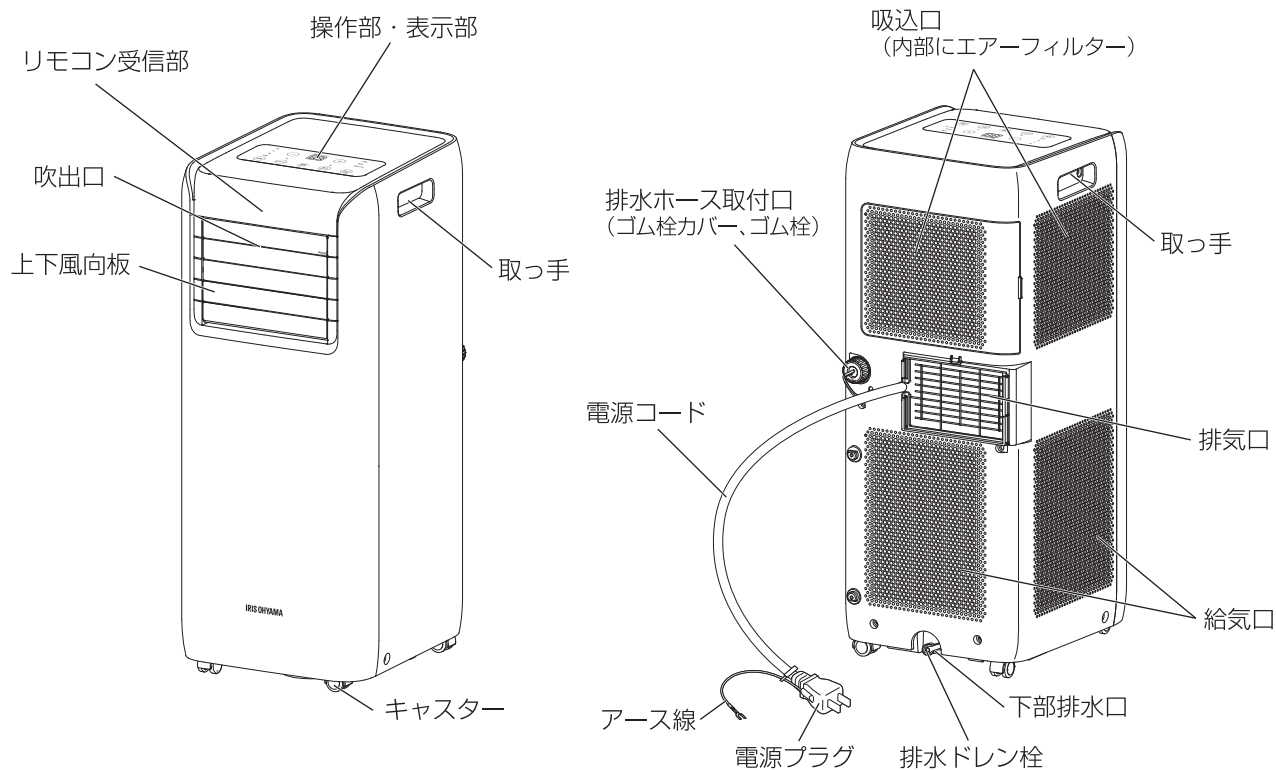
- この製品は、特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の適用製品ではありません。
- 廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者ご自身の負担により、専門の回収業者（登録制）に委託し、適切に処理してください。
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

お願い

- 運転中に停電した場合、停電復帰後に停電前の運転モードで運転を再開する機能があります。
- リモコンは落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
- リモコンの受信距離は正面で約7 m以下です。室内に電子点灯形（インバータ形）の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
- リモコンの送信部を本体正面に向けて操作してください。本体正面以外へ向けると動作しないことがあります。
- リモコンの送信部と本体正面の受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
- リモコン操作をしても動作しない場合、または本体表示部またはランプ表示が出ていても動作しない場合は新しい乾電池に2本とも交換してください。動作が正常でない場合は、乾電池を抜き取り5秒以上経過してから、再度セットし直してください。
- 乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなります。
- 新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 長期間（1か月以上）使用しないときは、乾電池を取りはずしておいてください。
- 初めてご使用になるときは、本機内部などから、塗料などのにおいが発生することがありますが、ご使用にともない、においが出なくなります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で運転を切にしても、消費電力が約1Wあるために操作部が少し暖かくなりますが異常ではありません。
- 故障の原因になりますので、むやみにボタン操作を繰り返さないでください。
- 本機は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。
- 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷の程度によっては、故障の原因になります。
- テレビやラジオなどAV機器や電波時計から2m以上離して使用してください。映像の乱れや雑音が入るおそれがあります。

各部の名称

■ 本体

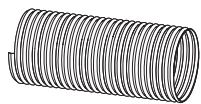


注意

● ゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は、冷風運転、除湿運転の排水時以外は、取り外さない。
水もれの原因になります。

■ 付属品

本体取付部品



排気ダクト×1



ダクトエンドA×1



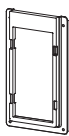
ダクトエンドB×1



コードフック×2



ねじ×2
(コードフック固定用×2)



シャッターレール
×1



シャッター
×1



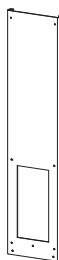
雨除けカバー×1
(虫よけ網付き)



レール用アタッチメント
×2



排水ホース
×1



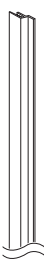
窓パネルA
×1



窓パネルB
×1



窓パネルC
×1



窓パッキン×1
(粘着剤付き)



隙間シールa×1
(厚さ1cm)
(窓パネルA用)



隙間シールb×1
(厚さ1.5cm)
(窓パネルB/C用)



リモコン×1



動作確認用乾電池×2
(10ページを参照して
乾電池を入れてください。)



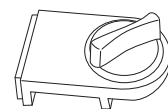
化粧ねじ×6
(レール用アタッ
チメント固定用×4、
窓パネル固定用×2)



キャスター受け
×4



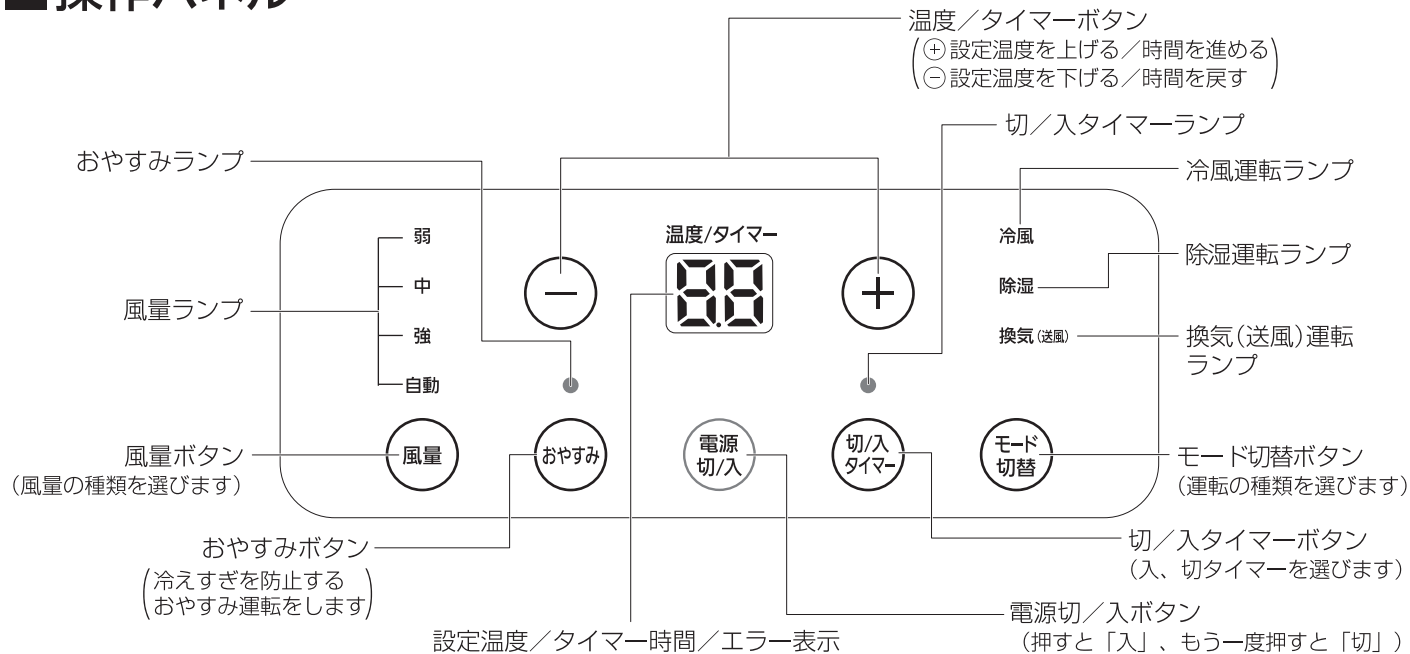
ねじ×4
(シャッターレールと
雨除けカバー固定用)



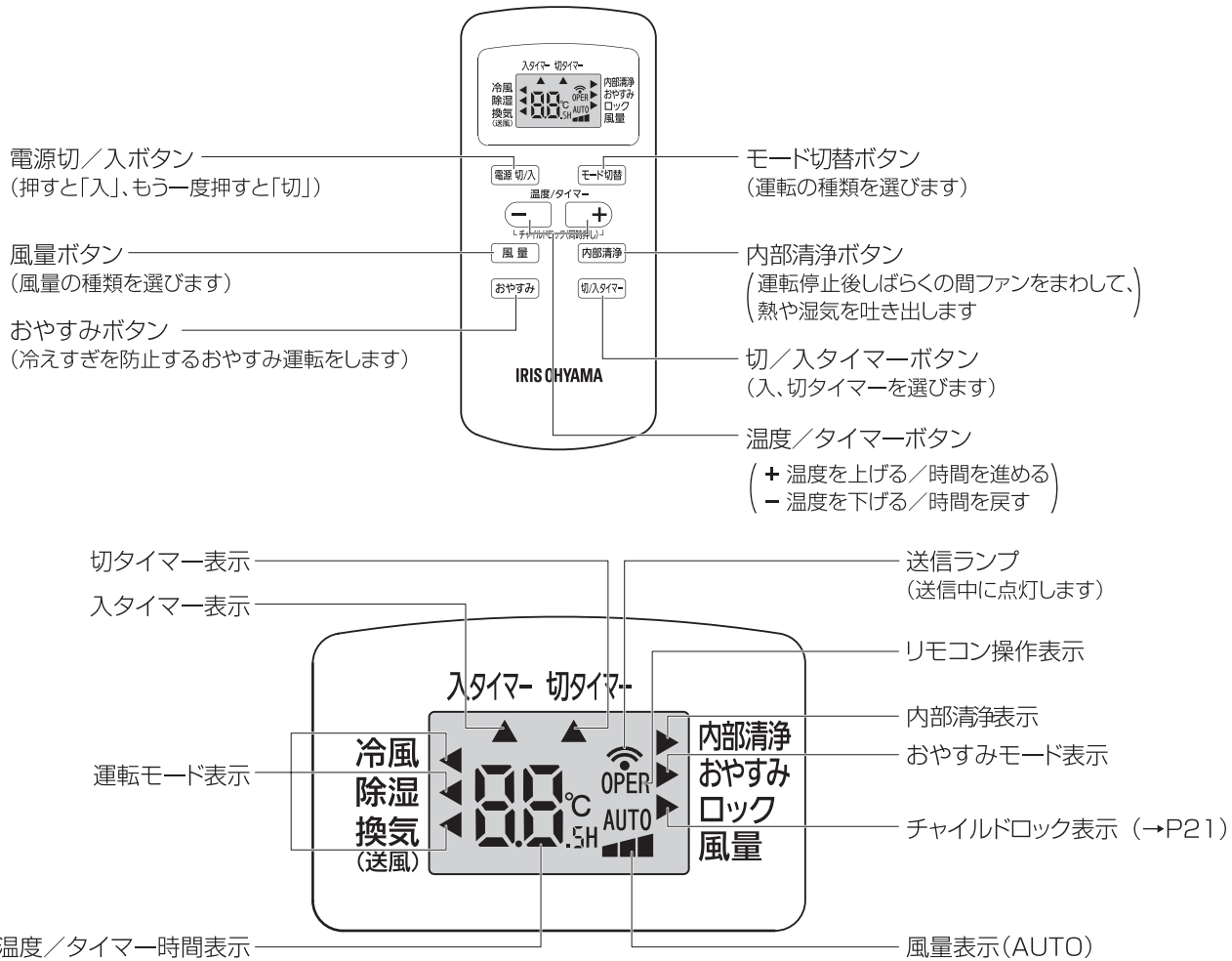
補助鍵×1

各部の名称 つづき

■操作パネル



■リモコン



● リモコン操作表示OPERが消灯していると、運転の開始(電源切／入)と入タイマーの設定(切／入タイマー)以外は、リモコンでの操作ができません。電源切／入ボタンを押して、OPER表示を点灯させから操作してください。

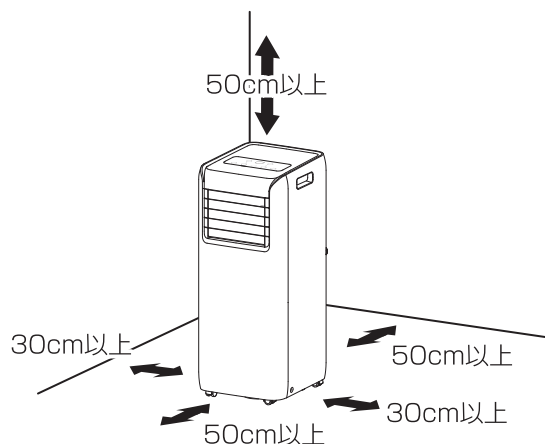
運転前の準備

1 本製品を設置する



- 必ず2人以上で設置・移動を行ってください。

- ・効率よく運転するために下図のスペースを確保してください。
- ※平らでしっかりとした床面に設置してください。
- ※上方の棚などからも、物が落ちない場所に設置してください。
- ※直射日光のあたらない場所に設置してください。

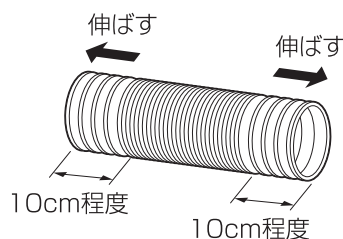


2 排気ダクトを取り付ける

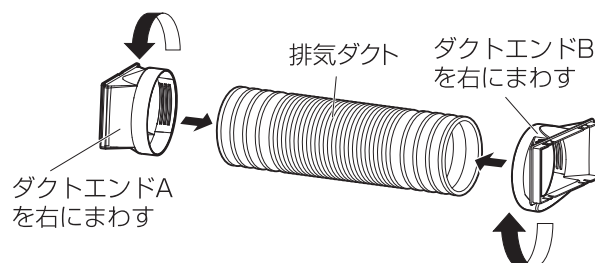


- 排気ダクトは排気口に取り付けてご使用ください。
排気ダクトを取り付けずに使用すると、排気の一部が給気に戻り、能力が低下することがあります。
- 排気ダクト内の金属ワイヤーや排気ダクト端面の取り扱い時は、けがをしないようご注意ください。

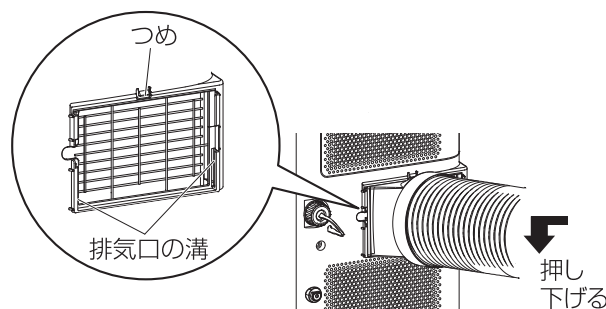
- ・排気ダクトの片端を10cm程度伸ばしてください。



- ・ダクトエンドA・ダクトエンドBを排気ダクトに挿入し、奥まで3～4周ぐらい右にまわして固定してください。



- ・ダクトエンドAを排気口の左右の溝に差し込んで、つめで固定されるまで押し下げてください。
- ※排気ダクトをはずすときは、つめを押しこみ、排気ダクトを引きながら、上に持ち上げてはずしてください。



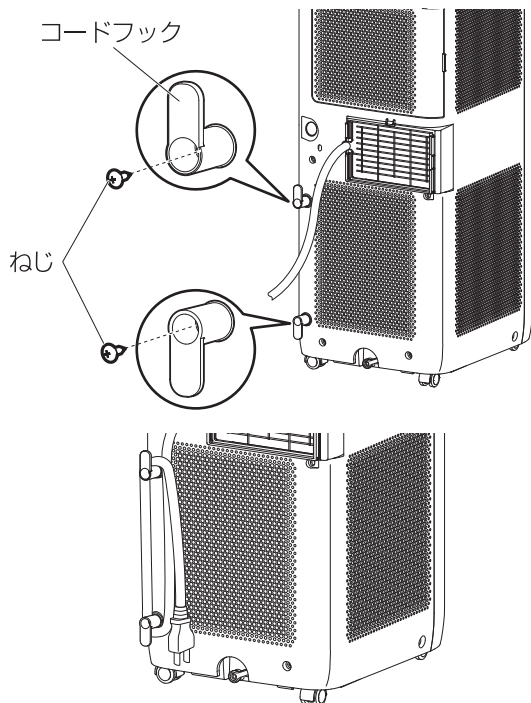
- ・排気ダクトを適当な長さに伸ばします。
排気ダクトを調整するときは、ダクトエンドA・ダクトエンドBの根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。

運転前の準備 つづき

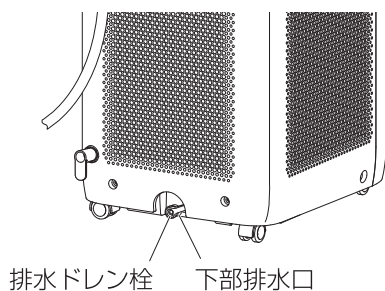
3 コードフックを取り付ける

- コードフックをおさえながら、2か所をねじで固定してください。

※コードを収納するときに使用します。

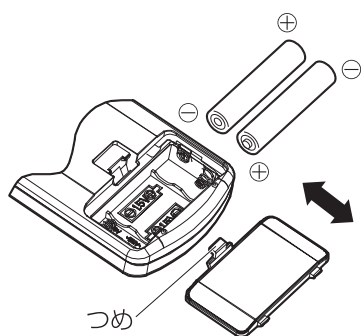


4 排水ドレン栓が確実に下部排水口に差し込まれていることを確認する



5 リモコンに乾電池を入れる

- リモコンの裏ぶたのつめを引いて取りはずし、 $\oplus$ $\ominus$ を間違えないように、乾電池を入れてください。
- ※単4乾電池2本が必要です。
- ※同梱されている電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。



窓パネルの組立と取付



注意

- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排気ダクトと窓パネルを使用してください。
- 雨どいの真下は避け、強い風などにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。室内を汚す原因になります。
- 排気口からの風切り音や、本体の振動などにより騒音を発生する場合がありますので注意してください。
- 雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- 鉄製の窓や特殊な窓には取り付けできないことがあります。
- シャッターを閉じたままで、本体を運転しないでください。うまく排気できず、故障の原因になります。
- 外出する時は、窓を閉め、窓自体の鍵をかけてください。
- 窓パネルの取り付ける場所は重量に耐えるところに、確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 取り付けは、必ず付属の窓パネルや指定の部品を使って正しく取り付けてください。取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 窓パネルの移動や再設置をする場合には、確実に行ってください。取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- 作業時は、手袋などの保護具を着用してください。
- お客様ご自身で取り付けができない場合は、アイリスコールへ連絡してください。

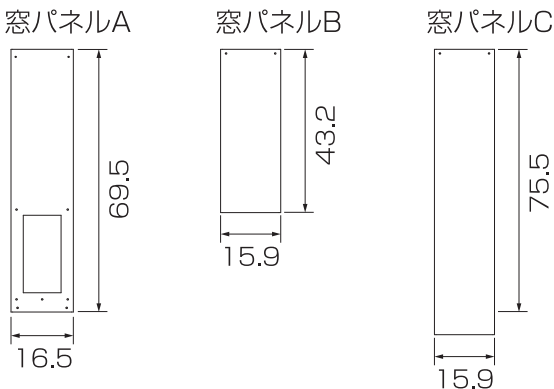
- ・取り付け前に、プラスドライバー、はさみ（カッター）を用意して下さい。

1 窓パネルを取り付ける前に、窓の高さを測る

- ・窓パネルは、窓の高さが76cm～143.5cmまでの対応になります。
- ・76cm～111.2cmまでは、窓パネルA/Bの2枚を使用し、108.3cm～143.5cmまでは、窓パネルA/Cの2枚を使用してください。この時、必ず2枚の窓パネルが6cm以上重なるようにしてください。

＜窓パネル単体寸法＞

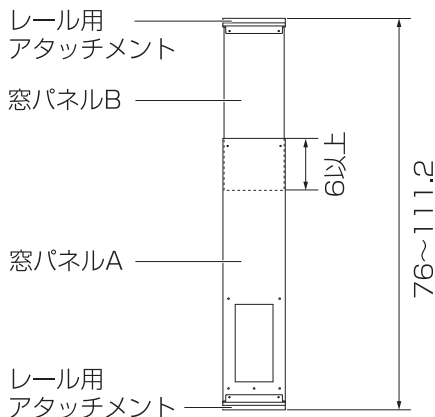
※ 単位cm



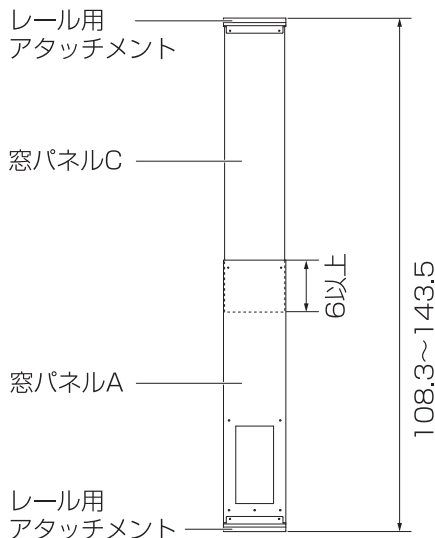
＜窓パネルセット寸法＞

※ 単位cm

窓パネルA／Bで使用する場合

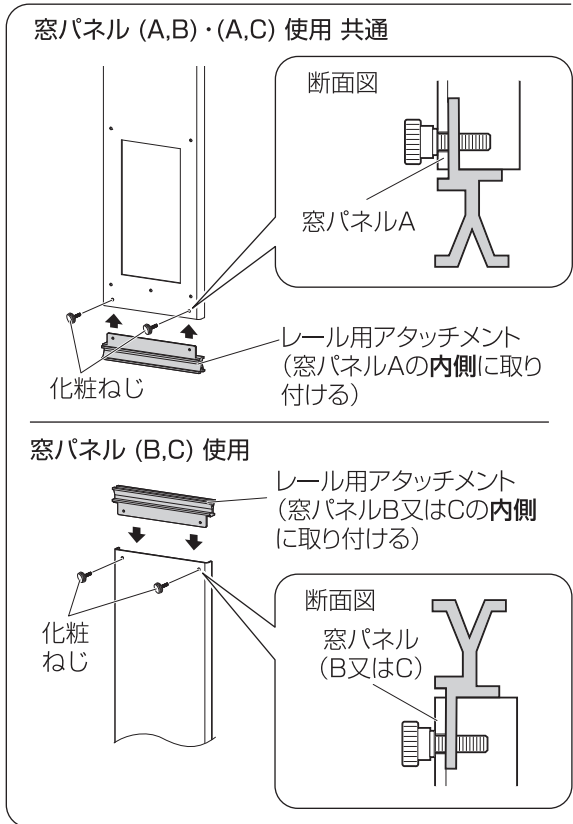


窓パネルA／Cで使用する場合



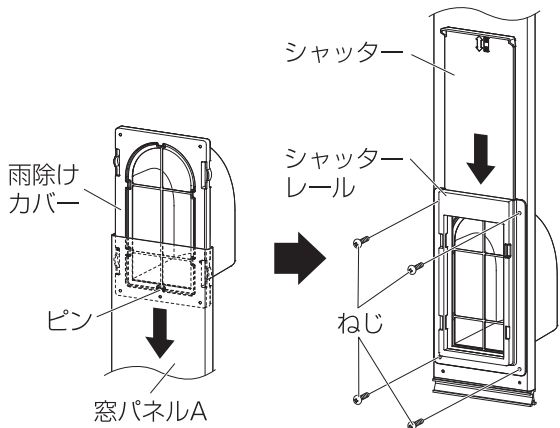
2 窓パネルの上端及び下端に、レール用アタッチメントを化粧ねじで固定する

- レール用アタッチメントの取付位置・取付方向に注意してください。



3 雨除けカバーを取り付ける

- 雨除けカバーを窓パネルAの上から挿入し、雨除けカバーのピンと窓パネルAの穴を合わせる。
- シャッターをシャッターレールに挿入しながら、シャッターレールを窓パネルAの穴位置に合わせて、ねじ (4本) でシャッターレールと雨除けカバーを共締めする。



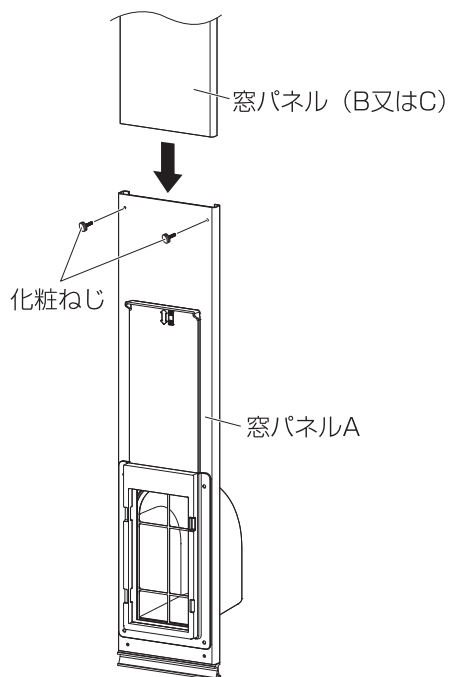
つづく→

運転前の準備 つづき

4 窓パネル（B,C）を窓パネルAに取り付ける

- 下側が窓パネルA、上側が窓パネルB又はC、窓パネルAの上側から、窓パネルB又はCを挿入してください。
- 窓パネルAの上側にある穴に、化粧ねじ（2本）で固定してください。

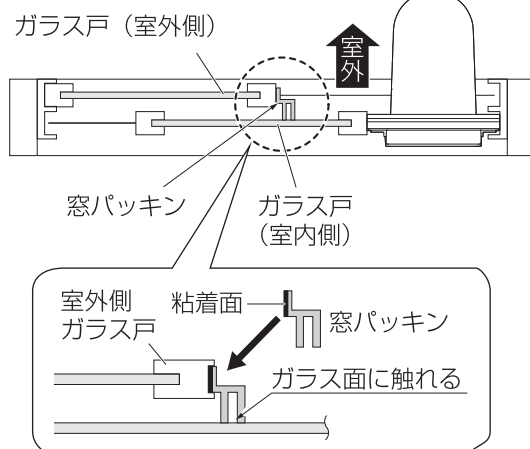
窓パネル（A,B）・（A,C）使用 共通



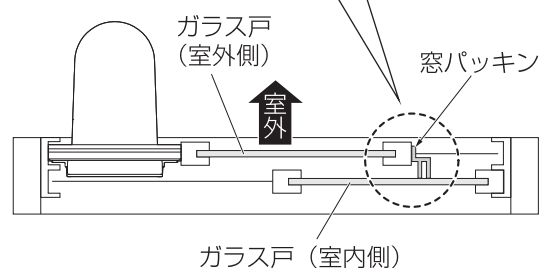
5 窓に窓パッキンを貼り付ける

- ① ガラス戸の隙間から外気や虫などの侵入が気になる場合は、室外側のガラス戸に窓パッキンを図のように貼り付けてください。
※ 必要な場合は貼り付けてください。
※ 貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。

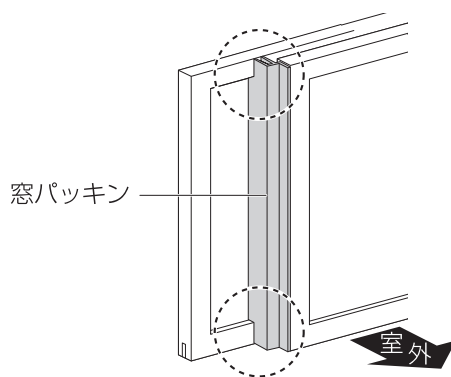
右側の場合



左側の場合



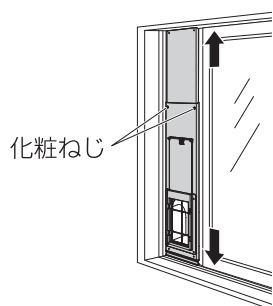
- ② ガラス戸の形状、長さに合わせてはさみなどで切断してください。



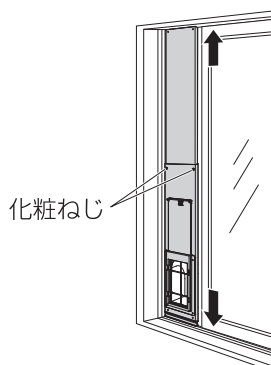
6 化粧ねじを少しゆるめて、窓パネルを窓枠のレールに合わせて差し込み、化粧ねじを締め付けて仮固定する

- ※ 仮固定後に窓パネルの両側面に隙間シールを貼りますので、窓パネルの両側面に隙間をあけて仮固定してください。
- 必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。

窓パネル (A,B) で
使用する場合



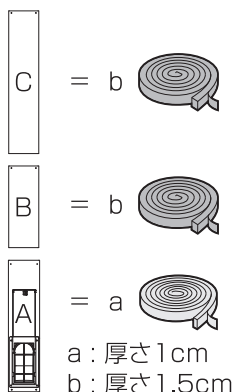
窓パネル (A,C) で
使用する場合



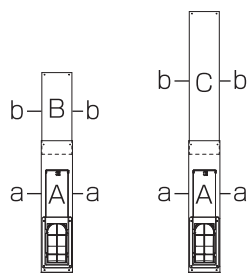
7 窓パネルに隙間シールaと隙間シールbを貼り付ける

- はさみなどで取付長さに合わせて切断してください。
 - 隙間シールaを窓パネルAに、隙間シールbを窓パネルB/Cに貼り付けてください。
- ※ 隙間シールaとbは窓パネルの側面への段差をなくすため厚さが違います。隙間シールと窓パネルの組み合わせを間違えると、側面に段差ができてしまいますのでご注意ください。

窓パネル 隙間シール

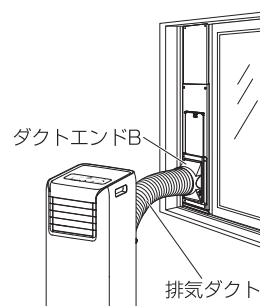


窓パネルA,B 窓パネルA,C



8 窓パネルを窓枠に隙間なく寄せた後、化粧ねじを締め付けて固定し、ダクトエンドBを窓パネルの穴に差し込む

- 取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になりますので、注意してください。
- ダクトエンドBを窓パネルの穴に差し込むとき、サッシにダクトエンドBがあたらないように注意してください。



<補助鍵の取り付け方>

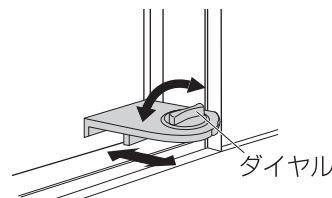
窓パネルを使用するときは、必要に応じて補助鍵を取り付けてください。



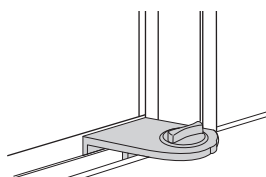
注意

- 盗難・事故などの補償はできません。
- 補助鍵のダイヤルを強く締めすぎないでください。窓枠や窓を傷めることがあります。
- 補助鍵を取り付けできない窓枠もありますが、ご了承ください。

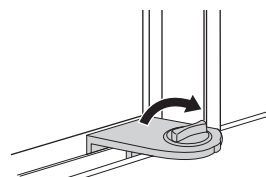
- ① ダイヤルを左右に回して、窓枠の奥行き幅に入るように調節する



- ② 手前と奥の窓を、隙間が無くなるまで端へ押し付け、補助鍵を窓枠に挿入する



- ③ ダイヤルを右に回し、手前と奥の両方の窓をロックする



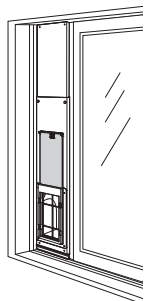
つづく→

運転前の準備 つづき

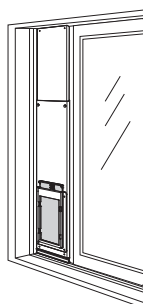
＜シャッターの使い方＞

排気ダクトを使用しないまたは運転しない時、シャッターを閉じることで、室外からの臭いや埃などが、部屋へ入らないようにできます。

- 本体を運転する時：ロックするまでシャッターを上スライドする。（開状態）



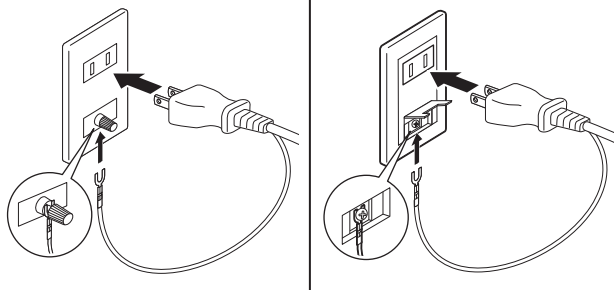
- 本体を運転しない時：ロックを外し、シャッターを下スライドする。（閉状態）



9 アースを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

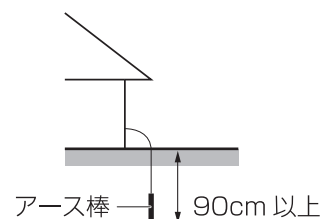
アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の端子を、コンセントのアース接続端子に差し込んで固定します。
- ふた付きの場合は開けて接続してください。



アース端子付きコンセントがない場合

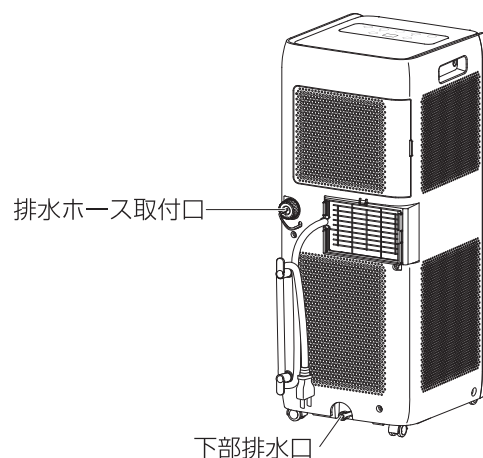
- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

- 移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水ホース取付口と下部排水口からドレン水を捨ててから行ってください。抜いたゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は元通りに取り付けてください。（→P15）

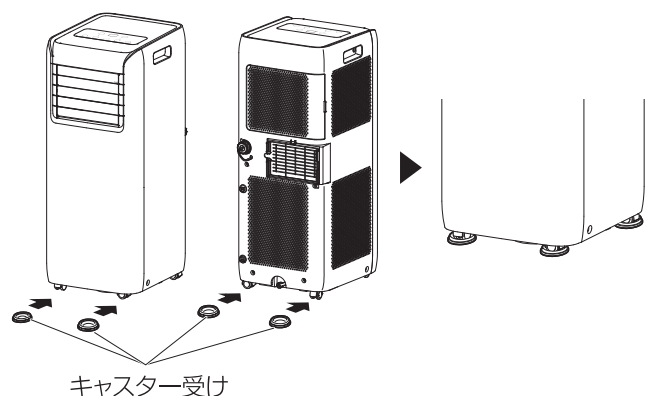


- コンセントの差し込みがゆるいときは、コンセントを交換してください。電源プラグの発熱・発火の原因になります。

■ キャスター受けについて

本製品を長時間同じ場所で使用すると、床に傷がついたり、床の材質によってはキャスターの跡がつくことがあります。必要に応じてキャスター受けをご使用ください。

- 内部の水を捨ててから、キャスター受けをご使用ください。
水もれの原因になります。
- キャスター受けを使用するときは、製品を転倒させないように注意してください。
けがや、床または家具などを傷つける原因になります。



■ 連続排水をするときの準備 (排水ホースの取り付け)

本製品を湿度が高い場所で使用すると、ドレン水が溜まり、満水表示することがあります。
必要に応じて排水ホースを取り付けて連続排水してください。



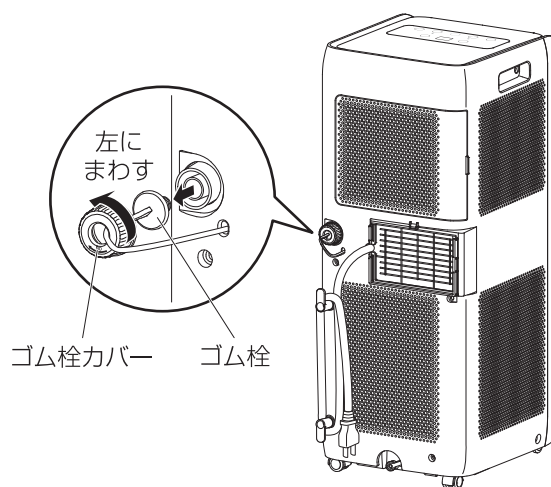
- ゴム栓、ゴム栓カバー、排水ドレン栓は、冷風運転、除湿運転の排水時以外は、取りはずさない。
水もれの原因になります。

- 冷風運転時、除湿運転時に連続排水で使用する時、排水ホースの取り付けをしてください。
- 排水の容器の水量やホースの外れ等を確認してください。
- 運転した後にゴム栓をはずすと、中に残っている水がこぼれることがあります。

1 付属品の排水ホースを準備する

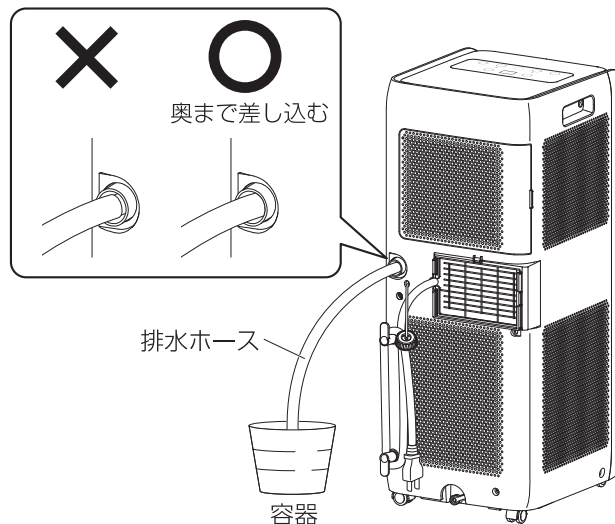
2 背面にあるゴム栓カバーを左にまわして取りはずし、ゴム栓をはずす

- 運転した後にゴム栓をはずすと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。



3 排水ホース取付口に排水ホースを取り付ける

- 排水ホースは奥まで取り付けてください。
- 排水ホースを取り付けて連続排水するときは、はずしたゴム栓またはゴム栓カバーは使用しません。連続排水しないときは、ゴム栓とゴム栓カバーを取りつけて使用しますので、大切に保管してください。
- 容器に連続排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。ドレン水が容器からあふれて床をぬらす原因になります。



使いかた

■冷風運転

- **温度／タイマーボタン（－／＋）**を1回押すごとに1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- 経済的な使い方として26℃～28℃に設定することをおすすめします。
- 設定温度は、16℃～30℃です。
- 部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。ファンは連続運転をします。
- リモコンの**電源 切／入**ボタンで再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回リモコンで設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。
- リモコン操作表示OPERが消灯していると、運転の開始（**電源 切／入**）と入タイマーの設定（**切／入タイマー**）以外は、リモコンでの操作ができません。**電源 切／入**ボタンを押してOPER表示を点灯してから操作してください。
- 冷風運転中は設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFFします。



注意

- 湿度が高い場所で運転すると、ドレン水がたまりやすくなり、本体表示部にH8が表示されて、ドレン水が満水になり停止することがあります。
停止したときは、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内にたまったドレン水を排水してください。
ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床をぬらす原因になります。
- 排水しても、本体表示部にH8が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。

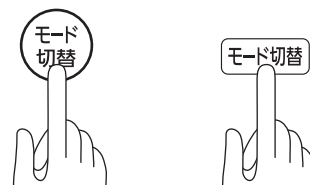


- 1 本体またはリモコンの**電源 切／入**ボタンを押す



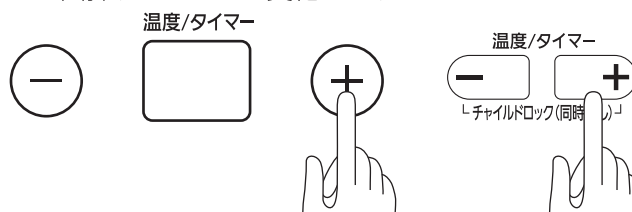
- 2 本体またはリモコンの**モード切替**ボタンを押して、**冷風**に合わせる

- ・ 本体またはリモコン表示部に運転モード、風量設定、現在設定温度が表示されます。

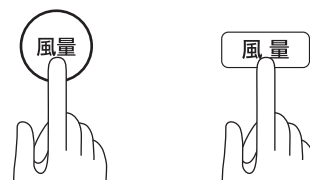


- 3 本体またはリモコンの**温度／タイマー**ボタン（－／＋）を押す

- ・ 1回押すごとに1℃変化します。

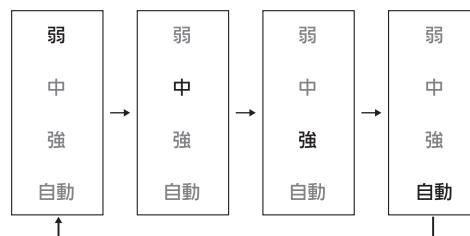


- 4 本体またはリモコンの**風量**ボタンを押して風量を選ぶ

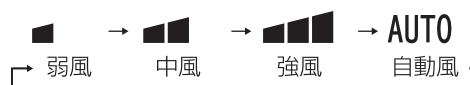


- ・ 本体またはリモコンの**風量**ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



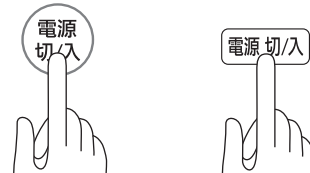
リモコン表示



- ・ 風量が**自動**の場合、風量の切り替えは自動的に行われます。

運転を止める

- ・ 運転中に、本体またはリモコンの**電源 切／入**ボタンを押します。



■除湿運転

- 設定温度の変更はできません。(リモコン表示部に温度が表示されますが、変更はできません)
- 風量は、弱風となり変更はできません。
- リモコン操作表示OPERが消灯していると、運転の開始(電源 切/入)と入タイマーの設定(切/入タイマー)以外は、リモコンでの操作ができません。電源 切/入 ボタンを押して、OPER表示を点灯してから操作してください。
- 室温に応じてコンプレッサーがON・OFFします。

- 湿度が高い場所で運転をおこなうと、ドレン水がたまりやすくなり、本体表示部にH8が表示されて、ドレン水が満水になり停止することがあります。
停止したときは、容器を用意し排水ドレン栓を抜いて製品内にたまったドレン水を排水してください。
ドレン水を抜いた後は、排水ドレン栓を元通りに差してください。排水ドレン栓を抜いたまま運転すると、床をぬらす原因になります。

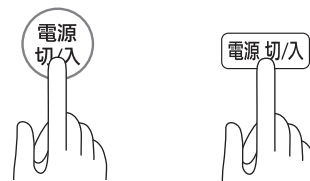


注意

- 排水しても、本体表示部にH8が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。

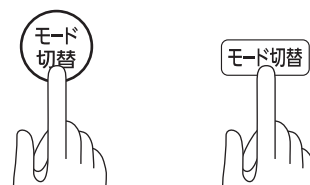


- 1 本体またはリモコンの電源 切/入ボタンを押す



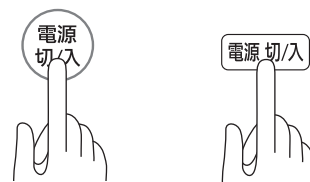
- 2 本体またはリモコンのモード切替ボタンを押して、除湿に合わせる

- ・本体およびリモコン表示部に運転モード、風量設定が表示されます。



運転を止める

- ・運転中に、本体またはリモコンの電源 切/入ボタンを押します。



使いかた つづき

■換気（送風）運転

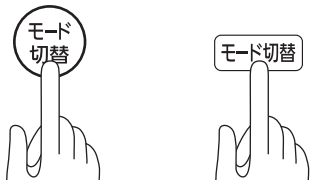
- 設定温度の変更はできません。（リモコン表示部に温度が表示されますが、変更はできません）

- 1 本体またはリモコンの**電源 切／入**ボタンを押す

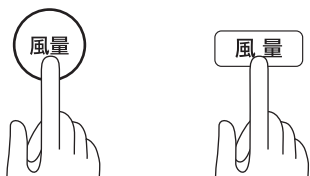


- 2 本体またはリモコンの**モード切替**ボタンを押して、換気（送風）に合わせる

- ・本体およびリモコン表示部に運転モード、風量設定が表示されます。

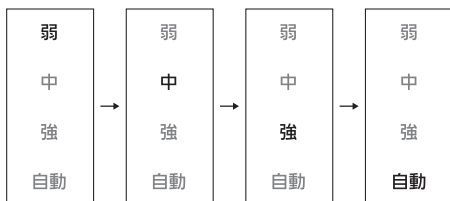


- 3 本体またはリモコンの**風量**ボタンを押して、風量を選ぶ

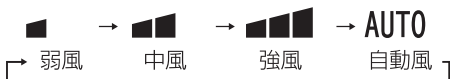


- ・本体またはリモコンの**風量**ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



リモコン表示



- ・風量が**自動**の場合、風量の切り替えは自動的に行われます。

運転を止める

- ・運転中に、本体またはリモコンの**電源 切／入**ボタンを押します。

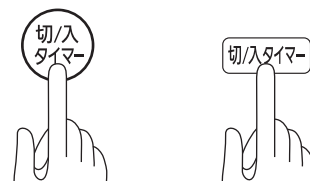


■切タイマー運転

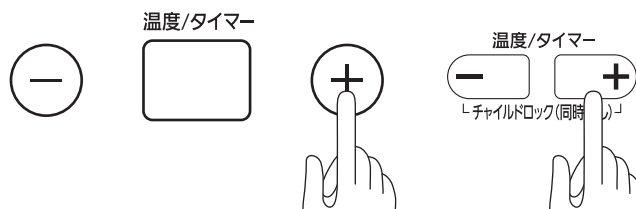
設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

- 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。
- 切タイマーは運転停止中では設定できませんので、運転中に切タイマー予約をしてください。

- 1 運転中に本体またはリモコンの**切／入タイマー**ボタンを押す



- 2 本体またはリモコンの**温度／タイマー**ボタン(-/+)を押す



- ・本体で設定中は、**切／入タイマー**ランプが点滅します。
- ・リモコンで設定中は、切タイマー機能の設定が点滅します。
- ・好みの時間に設定します。（最小0.5時間、最大24時間までです。）
- ・本体では、1回押すごとに10時間までは0.5時間、10時間以上は1時間ずつ変化します。
- ・リモコンでは、0.5時間ずつ変化します。ただし、本体表示部には表示されません。

3 本体またはリモコンの切／入タイマーボタンをもう一度押す

- ・タイマー運転を開始します。



- ・何もボタンを押さなくても、約5秒後点灯に変わりタイマー運転を開始します。
- ・本体の切／入タイマーランプは点灯にかわります。
- ・リモコンの表示は切タイマー機能の設定が点灯にかわり時間表示が設定温度表示にかわります。

切タイマー運転を取り消す

- ・本体またはリモコンの切／入タイマーボタンを押してください。



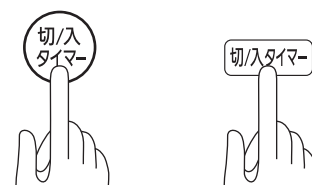
- ・本体の切／入タイマーランプおよびリモコンの切タイマー表示が消灯します。

■入タイマー運転

設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。

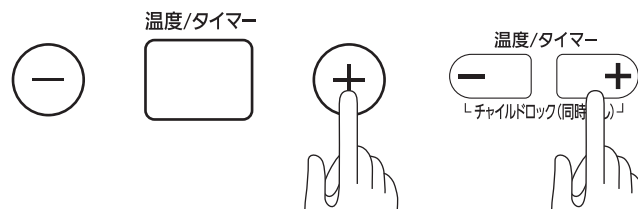
- 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。
- 入タイマーは運転中では設定できませんので、運転を停止させてから、入タイマー予約をしてください。

1 停止中に本体またはリモコンの切／入タイマーボタンを押す



- ・リモコン操作はリモコン操作表示OPERが消えていることを確認してから行ってください。OPER表示が点灯しているときは、電源切／入ボタンを押して消してください。

2 本体またはリモコンの温度／タイマーボタン(－/＋)を押す



- ・本体で設定中は、切／入タイマーランプが点滅します。
- ・リモコンで設定中は、切タイマー機能の設定が点滅します。
- ・好みの時間に設定します。(最小0.5時間、最大24時間までです。)
- ・本体では、1回押すごとに10時間までは0.5時間、10時間以上は1時間ずつ変化します。
- ・リモコンでは、0.5時間ずつ変化します。ただし、本体表示部には表示されません。

使いかた つづき

3 本体またはリモコンの切／入タイマーボタンをもう一度押す

- ・タイマー運転を開始します。



- ・何もボタンを押さなくても、約5秒後点灯に変わりタイマー運転を開始します。
- ・本体の切／入タイマーランプは点灯にかわります。
- ・リモコンの表示は、入タイマー機能の設定が点灯にかわり、時間表示が設定温度表示にかわります。

入タイマー運転を取り消す

- ・本体またはリモコンの切／入タイマーボタンを押してください。



- ・本体の切／入タイマーランプまたはリモコンの入タイマー表示が消灯します。

■ おやすみ運転

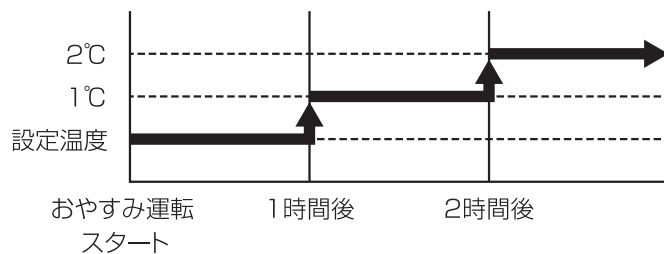
- おやすみ運転は冷風運転時のみ、設定ができます。
- おやすみ運転は冷え過ぎ防止運転であり、自動的に運転停止するタイマー運転ではありません。

1 冷風運転中に本体またはリモコンのおやすみボタンを押す

- ・本体のおやすみランプが点灯します。
リモコンで設定時はおやすみ運転機能の設定が点灯します。



- ・おやすみ運転をすると、セット後約1時間たつと設定温度を1℃アップさせ、さらに1時間後（おやすみ運転をセットして2時間後）設定温度をもう1℃アップします。



- ・その後は、2℃アップした設定温度で運転を続けます。

おやすみ運転を取り消す

- ・もう一度おやすみボタンを押すとおやすみ運転が取り消されます。



■ 内部清浄機能の設定

- 内部清浄は冷風、除湿運転時に設定ができます。
- 内部清浄は、運転停止後しばらくの間ファンをまわして製品内部の熱や湿気を吐き出す機能です。

1 リモコンの内部清浄ボタンを押して設定する

- ・ リモコン表示部に内部清浄機能の設定が表示されます。



設定を取り消す

- ・ もう一度内部清浄ボタンを押すと、内部清浄機能が取り消されます。

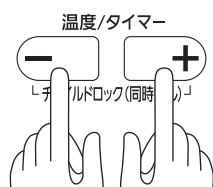


■ リモコンのチャイルドロック

- 製品本体にロックはかかりません。

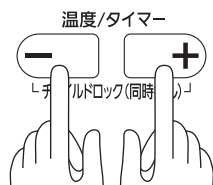
1 リモコンの温度／タイマーボタンの＋と－ボタンを同時に押す

- ・ リモコン表示部にロックの設定が表示されます。



設定を取り消す

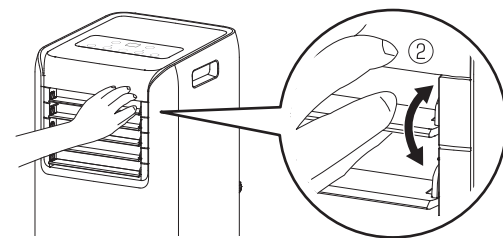
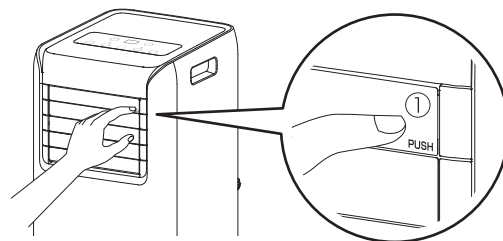
- ・ もう一度温度／タイマーボタンの＋と－ボタンを同時に押すと、ロックが取り消されます。



■ 風向調節

- 吹出口や吸込口にピンや針などの金属物や、指を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になるおそれがあります。

- ① 上下風向板の右上のPUSHを押して手前に出す
- ② 上下風向板をつまみ、お好みの方向に調整する



お手入れ

**注意**

- お手入れをするときは、必ず電源 切／入ボタンを押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しているので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。

■エアフィルターの掃除

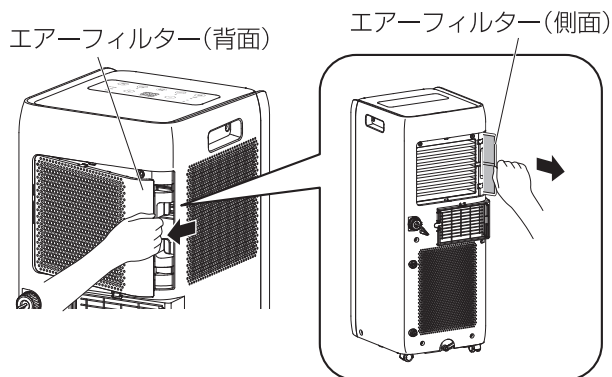
**注意**

- エアフィルターをはずした状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- 本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、引きずって移動しない。
けが、水もれまたは床を傷つける原因になります。

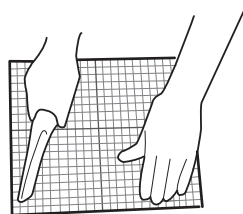
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。エアフィルターが縮むことがあります。

シーズン中は2週間に1回程度掃除してください。

- ・エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。



※エアフィルター（背面）を取りはずしてから、エアフィルター（側面）を取りはずしてください。



掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどいときは、水洗いしてください。

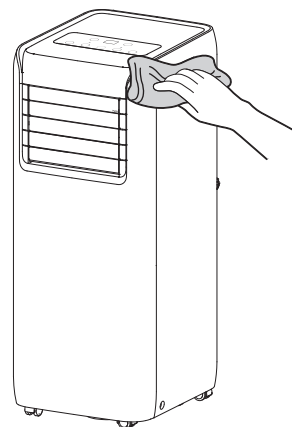
※エアフィルター（背面）はフィルター本体を取りはずしてください。

※掃除が終了したら、取りはずした逆の手順でエアフィルターを取り付けてください。

■本体のお手入れ

- 40℃以上のお湯は使わないでください。高温のお湯を使うと本体が変形することがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

- ・柔らかい布で、から拭きしてください。
- ・特に汚れがひどい場合は、かたく絞った布などで水拭きしてください。



■保管のしかた

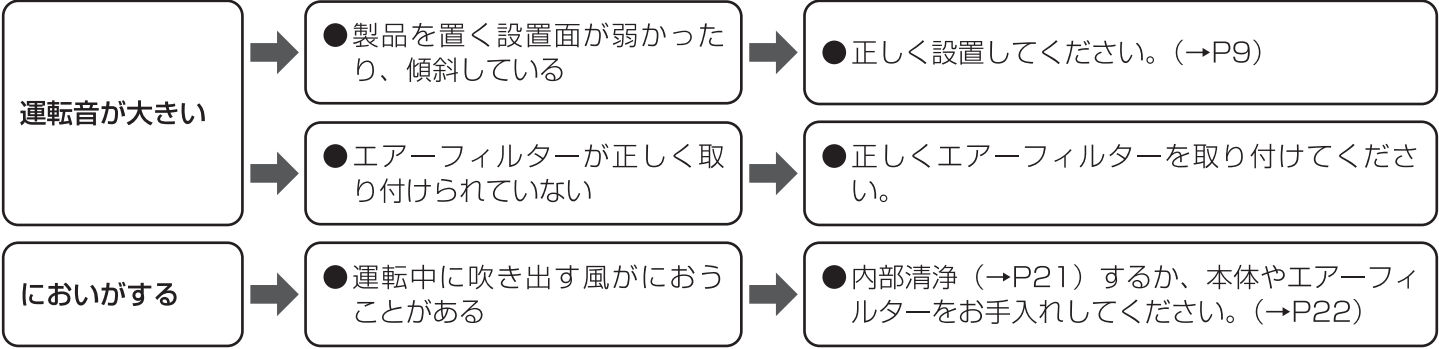
- ・ドレン水は必ず抜いてください。
- ・容器などで水を受ける準備をしたあと、下部排水口から内部の水を抜いてください。
- ・晴れた日に半日ほど換気（送風）運転をして、機器の内部を乾燥させてください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・エアフィルター類を掃除して、取り付けおいてください。
- ・排気ダクトを取りはずし、本体をビニールカバーなどで覆ってください。
- ・リモコンから乾電池を取り出してください。
- ・湿気の少ない、風通しのよい場所で保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	●電源 切／入 ボタンが切になっている	●電源 切／入 ボタンを入にしてください。
	●水がたまっている	●下部の排水口側から、あらかじめ用意した容器に水を捨ててください。
	●ヒューズが切れている	●アイリスコールにお問い合わせください。
冷えが悪い	●エアーフィルターが汚れている	●エアーフィルターを掃除してください。（→P22）
	●お部屋の中に熱源（加熱中の調理器具など）がある	●冷風運転、除湿運転のときは、熱源を取り除いてください。
	●吹出口や吸入口・排気口がふさがっている	●ふさいでいるものを取り除いてください。
	●コンセントを単独で使用していない	●コンセントは単独で使用してください。単独で使用しないと電圧が低下することがあります。
停止直後に再運転できない	●3分以上経過後、電源を入にしてください。	
停電復帰後、運転ボタンを押さなくても運転を開始する 電源プラグを挿したと同時に運転を開始する	●運転中に停電または電源プラグを抜いて運転停止している	●運転中に停電または電源プラグを抜いて運転停止すると、通電後自動で運転を再開します。
音がる	●運転直後シューっという音がすることがある	●異常ではありません。冷媒液が流れる音です。
	●運転の開始または停止時に“ピシビシ”という音がすることがある	●異常ではありません。プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

**警告**

●自分で分解・修理・改造しないでください。

エラーが表示されたときは

次のようなエラーが表示されて停止したときなどは、以下の点を確認してください。
※ アイリスコールへご相談いただく際には、エラー表示について、下記の読みでお伝えください。

表 示	原 因	処 置
H8	● ドレン水が満水になっている	● 背面の下部にある排水ドレン栓を抜いてから排水してください。（容器を用意して排水してください。） ● 頻繁に満水表示する場合は、排水ホースを取り付けて連続排水してください。（→P15）
F0	● 製品内部の異常を検知している	● アイリスコールにお問い合わせください。
F1	● 温度センサーの異常を検知している	
F2	● 配管センサーの異常を検知している	
F4		
E8	● 過熱防止保護装置が働いている	● 運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。30分以上待って、電源プラグを差し直してから、運転してください。 ● 排気口周辺に排熱を妨げるものがあれば、取り除いてください。 ● それでも直らないときは、アイリスコールにお問い合わせください。
H3		

仕様

品番	IPA-2221G
電源	100V 50/60Hz
冷風能力	2.0/2.2kW
消費電力	755/870W
電流	8.7/8.8A
冷媒	R410A
冷媒封入量	270g
電源コード	約1.9m
本体寸法	幅286×奥行320×高さ700mm
質量	22kg

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。
(1) 「/」で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。
(2) 冷風能力は、空気条件30℃、相対湿度70%強運転の時の値です。

冷媒に関する注意



この家庭用エアコンには、GWP（地球温暖化係数）が2090のフロン類（R410a）が封入されています。フロン類が排出されると地球温暖化が進みます。移設・修理・廃棄するときは、フロン類の回収が必要です。
フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■設計上の標準使用期間

- 標準的な使用条件にもとづく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS C 9921-3に基づく）

環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度（室内）	27℃（乾球温度）
	湿度（室内）	47%（湿球温度：19℃）
	設置条件	標準的な設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1年間の使用日数（東京モデル）	6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間／日
	1年間の使用時間	1008時間



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、9年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

愛情点検

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする
- ブレーカーが頻繁に落ちる
- 電源コードに破れがある
- 運転音が異常に大きい
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

ポータブルクーラー IPA-2221G

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：本体 1年間 冷媒回路（圧縮機・熱交換器・本体配管）3年間	
お 客 様	お名前		※ 販 売 店 住所・店名 電話（ ） -
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール（通話料無料）

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは（通話料無料）

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールアドレスにご記入のうえ送信してください